

同窓会報

発行：2005年5月15日
横浜市立南高等学校同窓会
事務局：電話 045-712-1040
FAX 045-743-4475
<http://homepage3.nifty.com/nanko-ob/>

目次・南高同窓会から.....	1
活躍する同窓生、同期会・OB会レポート.....	2 3
母校だより・2004年度南高同窓会表彰.....	4
新旧校長挨拶.....	5
平成17年度教職員移動・49期生幹事紹介・南高振興制度.....	6



卒業生の絆を高め、母校・社会に貢献を！

3月の卒業式と同時に、今年も全員の卒業生が揃って同窓会に入会されました。同窓会も来年で創立50年の記念すべき年となり、更なる発展に向けて新たなスタートをきります。これまでにお迎えした会員は18,987人です。還暦を過ぎた先輩は2,000人を超えています。もっとも18,987人と言いましても、残念ながらお亡くなりになった先輩諸氏も大勢いらっしゃいますから、現在人員ではないのです。しかし、亡くなられたとはいえ、私どもは永久に会員として、その足跡を残すことにしています。それは、同窓会50年の歴史を創りあげてこられた一人の仲間として忘れることが出来ないからです。

母校は、昭和29年4月に創立し、吉田中学校の間借り教室から始まり、次に港高校での肩身の狭い生活、ようやく自分たちの学校が出来たのは、同窓会が設立された翌年の昭和33年でした。校歌も無く徽章すらなかった母校を、先生、保護者、地域の方々が一体となって南高校建設に取り組みました。学生は不自由な教育環境、世間に全く知られていない“名もない母校”に一人ひそかに誇りを持ちつつ、ひたすら将来の名門校を夢見てきたものです。

さて、今50年目に立って母校を見つめると、確かに誇りの持てる学校になりましたが、学び・活動する意欲や喜び、そして学生と教師の絆などはだいぶ変化しているように思えます。一方このような変化の中で、いろいろな側面から教育改革が叫ばれていますが、制度

改革だけで解決するものではありません。教師・学生・保護者・地域が一体となって、協調して教育に取り組んでいくことが大切ではないかと思っています。同窓会には母校の教師、地域・企業で活躍するメンバーが多数いらっしゃいますし、在校生の保護者として再び南高校に関わっている方も沢山いらっしゃいます。この人的資源を有効に活用し、新しい教育の一翼を担い、その役割を果たしていく必要があると考えています。

同窓会は平成9年に「南高校スポーツ・文化・福祉振興助成制度」をつくりました。この制度は、卒業生の貴重な浄財を基金にし、障害者支援や、何らかの事情による学費困窮者への援助など、形の見える実質的支援制度です。更には、善行やスポーツで活躍した生徒への表彰も積極的に行い、活動の意欲や喜びを卒業生と共に分かち合うなど、母校のスポーツ・文化振興にも寄与しています。このような活動が出来るのも、無から有へと歩んできた50年間の流れの中で培った、卒業生の母校愛による強い絆があるからだと思っています。世間では、同窓会は単に親睦のための任意団体と評価する方もいらっしゃいますが、私たちの同窓会は“社会(南高)の役に立つ”ことを気概に持ち、かつ社会(南高)から求められる存在になるよう努力していきたいと思っています。

学校関係の皆様、そしてPTA・後援会及び卒業生の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

南高同窓会々長 松村祥男(1期)

活躍する同窓生、同期会・OB会レポート

障害を乗り越えて



南高を卒業して速ウン十年。横浜に戻っての生活も既に18年が過ぎました。東京での生活で思いもしなかった難病を患い、生活に支障をきたし戻ってきたのです。四六時中の痛みに襲われた生活が一段落したのは今から7年ほど前でした。痛みが薄らいでくるに従って、やっと人並みの生活のことを考えるに至りました。このまま親のすねをかじりつづけられるわけも無く、何か始めなければと思い、区役所の福祉課へ行き身体障害者の手続きをしました。身体障害者の証明をしてもらうには専門の医師に診て貰わなければならない、そのために生まれて初めてボランティアの方に手助けしていただくことになりました。

当時、南区のボランティア団体『ボランティアフォーラムみなみ』に相談したら、移動のための車と車椅子、それと運転手さんと介助をして下さる方を難なく手配して下さったのです。当日、無事診察が済んだところで、ボランティアの方に時間があれば、「この手配をしてくれた方に会ってお礼を言いたい」と申し出たところ、快く事務所に寄って下さいました。ボランティアをしようと思う方は

どなたも優しいのですが、その方もこんな状態になった私の話を聞いてくれました。そのことがきっかけで「電話番が出来るのなら、この事務所に来て電話の受付をやってみませんか」と声をかけてくれたのです。家の中から但ひたすら庭に来る鳥を見たり、空に浮かぶ雲を見たりするだけの生活に飽き飽きしていたので、飛びつくような思いでした。一週間に一日で構わないとの事だったので、永らく社会生活をしていない身には丁度良く、有難いことと受けることにしました。勿論、自分の足で通えないので迎えの車、帰りの車とそれぞれ運んでくださる方も決めてくれました。電話の受付ぐらいは出来ても、区民からのボランティアに対する要望や相談など到底出来ることではないと不安だらけでしたが、周りの方たちが親切に教えてくれたのです。結局、現場でのボランティアは私には出来ないことなので、ひたすら電話の受付を続けてもう7年になります。これも周りの優しい人達のおかげと日々感謝しています。

前述の『ボランティアフォーラムみなみ』は昨年の7月から『南区社会福祉協議会ボランティアセンター』と名称変更になりました。

曲淵 弓(11期)

応援団OB会



去る7月19日、第2回応援団OB会を蒔田の松風苑にて開催しました。

今まで17期を境に交流の無かったOBがこのようなして集まったのは、創立五十周年記念式典でのOBによる応援団復活がきっかけでした。創立式典後の第1回OB会において、今後も定期的に開催すること、また39期が最

後となった現役応援団の復活が主なテーマとして活動していくことで一致しました。そして今回の2回目においては、式典に参加できなかった諸先輩も加わり、18名で開催しました。五十周年式典や32期生の卒業式での雄姿のビデオ鑑賞も行いながら大いに盛り上がり、あっという間に過ぎた3時間は、校歌とエールで締めくくりました。

3回目は、来年2月に行います。

応援団OB会 粕谷正伸(26期)



23期同期会を初めて開催



南高五十周年祝賀会に出席した23期の有志が集まり同期会を企画、1年に及ぶ準備期間を経て2004年11月6日、初の23期同期会が開かれました。

会場となった横浜エクセルホテル東急には150名近い同期生が集まり、再会を喜ぶ歓声があちこちであがっていました。7組の泉君が司会進行役をつとめ、同期会幹事長で1組の比留川君が挨拶し、来賓の桐生同窓会副会長からもスピーチを頂きました。そして蕪木先生の乾杯の音頭でフリートークタイムへ。会場で拾った声をいくつかご紹介すると・・・「俺、独身だけど誰かいない？20代の女の子、紹介してよ」相変わらず、変わってないよね。ずうずうしいのは」「へーっ、マネージャーになったんだ、すごーい。部下は何人？」「リストラで部下はいない」・・・。バイキングのお皿を元男子のテーブルに運ぶ元女子を見て、「ちゃん、そんな男子にさせればいいのよ」etc。

特設ステージでは蕪木・関・小泉・常木先生がスピーチされましたが、見た目は多少お変わりになったものの、話し方は26年前とほとんど同じ。そして



次に、懐かしいピンクレディーの曲が流れ登場したのが3組福永都さんと9組大坂裕子さん。南高祭以来(注・卒業アルバムに写真掲載)の再結成によりダンスナンバーを披露、会場をおおいに沸かせてくれました。今回、裏方となって同期会の準備を進めてくれた各クラスの幹事さん達も並び、会場からは盛んな拍手が。最後は全員で校歌斉唱、8組菊地君の力強いエールでお開きとなりました。

高校時代は想像も出来なかった40代半ばという年齢にさしかかり、環境はそれぞれ異なるけれど、3年間の青春時代を共有した仲間同士、再会を誓って帰途につきました。

能條真子(旧姓横山・1組)



13期同期会



「わー懐かしい君元気？」そんな会話が受付で響く中、私たち13期同期会は平成16年11月23

日(土)に南高生ゆかりの地、上大岡のオフィスタワー24Fアリエスにて開催しました。4年に一度の開催ですが、初めて出席する方とはなんと36年ぶりの再会となりお互いかなり年を重ねたなーと痛感しました。

出席人数は94名、他県からの参加も多数あり盛り上がりました。中瀬古公男さんの司会で始まり、桐生秀昭さんの挨拶、松本昭さんの乾杯の音頭と進み、1部はいくつかのグループに分かれて談笑、2部では今回初めての試みで生バンドを入れダンスタイムをもうけました。バンドも同世代の方をお願いしたので、60年代、70年代オールディーズをバックに当時あこがれていた人とダンス・・・そんな人

もいたのでは。少しの照れと、懐かしさと、うれしさ、ちょっとオーバーですが、18才に戻った気分だいたい君とかちゃんなんて呼ぶのは、同期会ならではの光景です。音楽の高橋先生もご参加下さり、写真を撮ったり、近況を話したりしました。1部、2部で約4時間ですが、こんなに4時間が短いとは、多分皆感じていたのでは。

追伸 くしくもこの日は新潟地震の日でした。被災者の方々どうぞ頑張って乗り越えて下さい。13期からも多少ですがお見舞いさせて頂きました。

瀬尾のり子(旧姓高浜・2組)



母校だより

未来へのシステム構築を！

52期の新入生が入学を迎えた今年は50期3年生が新教育課程の最終学年を完了する年となり、これは単位制・新学区・新入試など社会の変動・変革に沿って変容した新たな南高校が、新しい種(卒業生)を播き始める年であることを意味します。

創成期、成長期、安定期を過ごした南高が、この再生変革期にあっても昔と変わらず素晴らしい生徒を預かることができるという幸福が、今日までの卒業生の学校評価や、同窓生の努力による社会からの評価によるものであると考えれば、今般まで南高に関わりを持って頂いてきたPTA、後援会、地域、旧教職員、そしてなにより同窓の諸氏に改めて感謝したいところです。

教職員は異動期間短縮(6年間)によって旧来

以上に入れ替わりが激しくなり、また同窓会でも新たなシステムの構築を模索する年となりますが、南高を築いてきた方々の労に応えるため、各方面が知恵と努力をもって南高をしっかり支える組織を整備することこそが、南高の今一番の課題といえるでしょう。

教諭 金子哲也



2004年度(平成16年度)同窓会表彰

本年度、スポーツ、文化部門で顕著な成績を収めた現役生徒の栄誉を称え、同窓会より表彰されました。

個人表彰

氏名	学・組	部	表彰内容
畑 絵理香	3年4組	弓道部	第59回国民体育大会少年女子遠的第4位
新藤 智美	2年1組	弓道部	第23回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会女子個人出場
荒井遼太郎	2年3組	弓道部	第23回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会男子個人出場
間邊 喜一	3年6組	陸上競技部	関東高等学校陸上競技大会走幅跳、走高跳二種目出場 関東陸上競技選手権大会走幅跳出場
石田 陽輔	3年4組	バスケット部	国民体育大会バスケットボール関東ブロック少年の部出場(県優秀選手)
山邊 歩未	3年4組		全国高等学校総合文化祭楽器管弦楽部門文化連盟賞受賞
紀平 優	2年2組	陸上競技部	関東高等学校陸上競技大会男子走高跳出場

団体表彰 弓道部

第48回全国高等学校弓道大会女子団体戦第8位 技能優秀賞

畑絵理香(3年4組)山崎志帆(3年5組)沼田真由子(3年2組)臼井里美(3年3組)深水敦子(3年3組)権藤愛(3年6組)

第22回全国高等学校弓道選抜大会女子団体出場

山崎志帆(3年5組)臼井里美(3年3組)深水敦子(3年3組)沼田真由子(3年2組)

第48回関東高等学校弓道大会女子団体3位

畑絵理香(3年4組)山崎志帆(3年5組)深水敦子(3年3組)沼田真由子(3年2組)

新旧校長挨拶

退任のご挨拶

前校長 葛野泰男



わずか2年間でありましたが、お世話になりました。

国・地方税財政の三位一体改革について如何お考えでしょうか？義務教育費国庫負担法では公立義務教育に携わる教員の給与の半分を国が、残り半分を都道府県が支出することになっていますが、国の負担分を人口に比例させた（税源移譲付き？）特例交付金制度に変更し、地方自治体で自由に又独特な教育施策を展開できるようにすることです。要するに、金が無いから過不足は自治体で責任を取りなさい。工夫しなさい。という訳です。そのため、政令指定都市は県が負担していた分を政令指定都市が負担しなさいということになります。510校も義務教育学校を抱える横浜市は教職員給与として県が負担していた分だけでも新たに800億円必要となる。国の交付金には用途制限が無い予定なので、それ以上の負担も考えられる。

「コスト面から考えると設置義務のない高校を潰して財源を確保しようとされてしまうぞ。」

「東京都立高校はバランスシート提出が義務づけられ学校運営と生徒指導の費用対効果＝コスト感覚＝が求められているぞ。」

「横浜市立高校崩壊の危機と捉えよ。」

「PTA連絡協議会や教職員に、もっと必要性や具体的な市民教育への実績を示さないと大変なことになるよ。」と、2年間知らせ続けました。

南高が100年といわず60年保つのか？県立高校の再編・統廃合状況を見てください。アピールや実績の薄い順位にまらめられてしまっています。私としては『お祭りもできる学習学校』をキャッチフレーズとして学校運営計画を教育委員会等にアピールしてまいりました。「学習を中心に委員会活動、学校行事、部活動を自主的に運営する体験を積みながら自主自立の精神を培い、調和の取れた人間育成という『全人教育の伝統』を数値でも表せるようにしないと、南高に子弟を通わせたいとの市民の理解は得られない。」との想定のもとに。

しかし、制限時間が来てしまいました。南高の永遠を祈ります。

着任のご挨拶

新校長 西村哲雄



平成17年4月1日付で校長を拝命しました西村です。

“学習環境の充実した南高校、勉強と部活を両立している南高校”などの漠然としたイメージをもって着任しました。

登校時の生徒に声をかけると挨拶がしっかり返ってきます。昼休み、楽しく外のベンチで昼食している女子生徒、昇降口近くのソファで昼食している男子生徒そして黙々とグラウンド整備をしている野球部。放課後、弓道部の練習では静寂の中ピシッと矢が当たる音がします。こんなに活気のある生徒、スタッフに恵まれた南高校に来て幸せです。

私は、大鳥中学校、栗田谷中学校で理科を教え、教育委員会で指導主事、六角橋中学校長、児童生徒指導担当部長、教育センター所長をさせていただきましたが、高等学校は初めてであり期待と不安が入り交じっています。

同窓会の皆様のお力を頂き、伝統に恥じない進取の気概をもった立派な生徒を育てたいと思っています。

さて、高度情報化の進展、少子高齢化の進展、複雑な経済、社会情勢など混沌とした時代を予感させます。こうした厳しい時代の中で生きる南高生徒の将来を見据えて教え育てることが重要と考えております。

一人一人の個性を尊重し最大限にのばす教育の充実に努めてまいりますので、お力添えのほど宜しくお願い申し上げます。



平成17年度教職員移動

転出・退任された教職員

学校長	葛野 泰男	定年退職（野庭東CSへ）
数 学	加藤 享市	市立戸塚高校へ
数 学	山田 直子	本校非常勤講師(英語)
社 会	服部 孝	市立金澤高校へ
保健体育	佐藤 早苗	市立東高校へ
保健体育	菅原由美子	県立上菅田養護学校へ
保健体育	田中 智美	本校非常勤講師
芸 術	高村 和利	(美術)退職
家 庭	田中ちづ子	本校非常勤講師

転任された教職員

学校長	西村 哲雄	教育センターから
国 語	白取 真弓	市立金澤高校から
数 学	多田 久幸	市立桜丘高校から
数 学	宮野 洋一	市立鶴見工業高校から
社 会	倉橋 伸	市立桜丘高校から
社 会	八木 静子	市立港高校から
体 育	伊藤 陽介	市立金澤高校から
体 育	田中 香織	新採用
英 語	山崎千賀子	市立横浜商業高校から
芸 術	原田美穂子	市立横浜総合高校から
家 庭	中村 知子	市立鶴見工業高校から

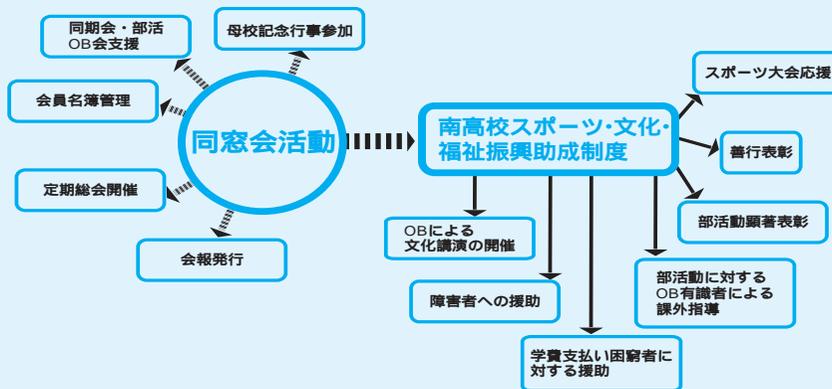
49期生幹事紹介

クラス	氏 名	電話番号
1	小林 瞳	
	鈴木 英功	
2	下村 高司	
	沼田真由子	
3	川端 勇飛	
	木村 友美	
	藤枝 彩香	
4	石川 清夏	
	村上 和也	
5	藤田 光輝	
	松尾 結衣	
6	関口 来未	
	関口 翔太	

「南高校スポーツ・文化・福祉振興助成制度」(南高振興制度)へのご協力をお願い!!

あなた(南高同窓生)の心を!
 あなた(南高同窓生)の手で!
 あなた(南高同窓生)の力で在校生へ支援を!

南高振興制度の位置付け



南高振興制度にご理解ご協力頂ける方は、浄財を下記によりお振込み頂きたくお願い申し上げます。

振込み方法：郵便局または別紙「郵便局振込用紙」による

口座番号：00270-0-50174

名 義：横浜市立南高等学校同窓会

その他

- 1.お一人2,000円以上でお願い出来ればと思っております。
- 2.お振込みに際し、お名前(併せて旧姓も)・ご住所・卒業生の方は卒期をお書き下さい。
- 3.振込み手数料は、専用郵便局振込み用紙の場合、同窓会で負担致します。
- 4.制度の詳細をお知りになりたい方、振込み用紙が必要の方はFAXでご連絡下さい。

事務取扱責任者 同窓会事務局 事務長 菊地晶江 FAX：045(743)4475